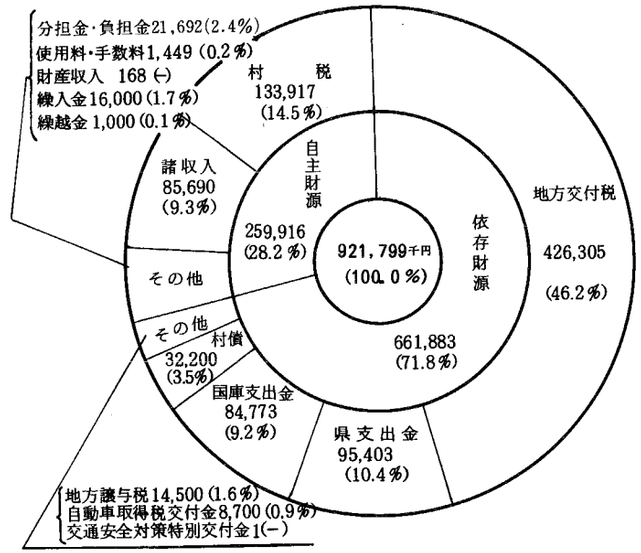
住みよい生活環境と産業振興を
今年の村の台所は、9億2千2百万円でスタート
～ 57年度一般会計予算 ～

本村の昭和五十七年度の当初予算が、第一回定例村議会で決まりました。

今年の一般会計予算の規模は、九億二千百七十九万九千円で前年度比二千二百三十万二千円（二・四％）の減となりました。

以下は、村の予算のあらましです。

歳入予算の財源別構成（単位　千円）



歳入

村税は前年比十二％増の一億三三九一万七千円を見込みました。

地方交付税は十・七％増の四億二六三〇万五千円を見込みました。これは歳入総額の四十六・二％を占め五・四％増となっています。これは予算規模が二・四％縮少したことも原因していますが、やはり自主財源の乏しさがうかがわれます。又、国庫支出金が四十一・二％減の八四七七万三千円と大幅な減額を見ていますが、昨年度のような大規模な補助事業を実施しないためで、その結果、村債についても三二二〇万円と五十八・四％の減額となっています。村債の内容は農村総合整備モデル事業債一四九〇万円、村道整備事業債一〇〇〇万円、消防施設整備債六三〇万円、地盤沈下対策事業債一〇〇万円となっています。

歳出

歳出の投資的経費は主として、農村総合整備モデル事業、村道整備事業等建設事業費で一億四七九九万六千円となり、歳入総額の十六・一％となっています。又、消費的経費では人件費二億五〇〇三万五千円、物件費一億四〇四九万円、補助費一億一八一一万二千円、扶助費三六七一万八千円、維持補修費九九九万四千円で全体の六十二％を占めています。その他公債費、貸付金、繰出金等で二億一八四五万四千円で二十三・七％となっています。

歳出の主な概要は次のとおりです。

議会費　総額　三四、三九〇千円

総務費　総額　一〇一、二六八千円
村長交際費　七〇〇千円
広報発行費　一、一八〇千円
県知事選挙費　七一〇千円

民生費　総額　一二二、一四七千円
老人健診　五一〇千円
老人クラブ補助　六二三千円
老人医療　二四、一七七千円
老人世帯牛乳代　五六一千円
県障医療費　七五六千円
児童手当　六、〇六四千円

衛生費　総額　四五、八五九千円
結核検診　八四三千円
白根衛生センター組合負担金　二〇、七五二千円
環境衛生対策事業補助　一、二三四千円
健康づくり事業　三、九四五千円
循環器特別対策事業費　一、五一六千円
乳児妊産婦医療費助成　一、五三〇千円
母子栄養強化助成　七四九千円

農林水産業費　総額　二〇五、一一七千円
地域農業生産総合振興事業補助　四、〇二三千円
有害鳥獣駆除費　六九三千円
家畜伝染病予防対策補助　三九〇千円
非農地排水事業　五、七〇八千円
落葉果樹生産振興事業補助　二、六六三千円
水田利用再編対策費　七〇〇千円
手づくりむら整備事業補助　一、一一一千円
新農業構造改善事業　四〇、九七四千円
農村総合整備モデル事業　七八、〇六二千円

商工費　総額　八九、四一〇千円
商工会補助金　二、四〇〇千円
店舗改善利子補給　五八〇千円
中小企業近代化資金　二五、〇〇〇千円
地方産業育成資金　七、七四六千円
商工事業協同組合　三七、〇〇〇千円

土木費　総額　四一、〇六九千円
村道台帳整備費　二、〇〇〇千円
除雪機械借上料　二、〇〇〇千円
敷砂利等　二、〇〇〇千円
土木事業費　一五、〇〇〇千円
舗装修繕費　一、〇〇〇千円
国土調査委託料　一、九〇五千円
団員報酬　一、八一三千円
出動費用弁償　九〇〇千円
分団、部運営費　四四八千円
消防団員等公債組合負担金　一、七六二千円
防火水槽二基　四、〇〇〇千円
消火栓　一、〇〇〇千円
ポンプ格納庫　一、九五〇千円
積載車　四、七四〇千円
白根地区消防事務組合負担金　二四、六〇三千円

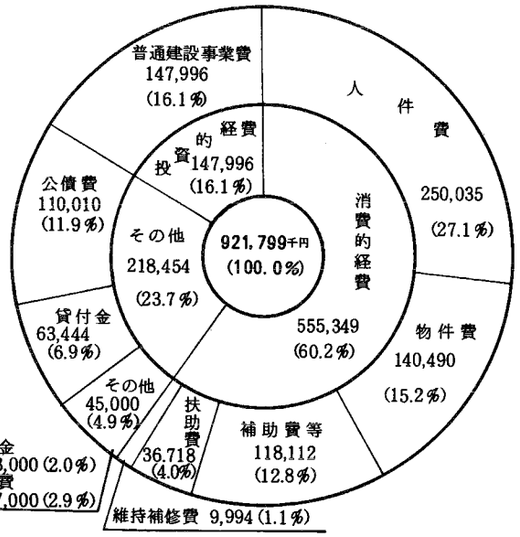
消防費　総額　四五、二六一千円

教育費　総額　一〇〇、五一五千円
奨学貸付金　七四四千円
準要保護扶助費　一、五三五千円
(財)児童定期代　一、一五七千円
(財)郡市大会遠征補助　三〇〇千円
青少年育成村民会議　三〇〇千円
野球場維持費　一、〇一八千円

公債費　総額　一一〇、〇一〇千円
償還元金　六二、四三四千円
償還利子　四七、一九七千円

予備費　総額　二七、〇〇〇千円

歳出予算の性質別構成（単位　千円）



昭和五十七年度
簡易水道特別会計予算
＝総額一億六千七百万円＝

本年度簡易水道特別会計の予算は、総額一億六千六百九十二万六千円で前年度比二千六百万八千円（一・六％）の増となっています。歳入の主なものは使用料で三千三十七万六千円（前年度比七・九％増）、基本負担金及び流末工事負担金で四十五万円（前年度比五五・五％減）今年度の新規加入は十五世帯を見込んでいます。諸収入で二千五百九十万円でその内、工事収入が前年度同額の五百万円で雑収入が二千八十八万五千円であります。

昨年度より計画された簡易水道拡張事業が水利権、事業認可等の遅れで出来なくなり、五六年度で債務負担行為を起し本年度で村債一億九百二十万円を計上しました。

歳出では人件費や消耗品費などの管理費で一千八百九十六万三千円、施設の維持費や簡易水道拡張工事請負費などの施設管理費で一億四千二十五万一千円を計上し、又建設時の借入金、償還金、一時借入金、元利金が七百二十一万二千円となっています。

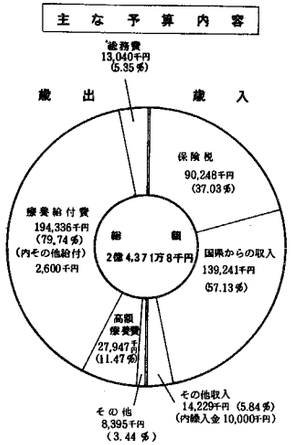
本会計では一億円という巨額の工事費は大変でありますが、将来ともに安定した給水と住民サービスの向上を図ることを目標に努めたいと思います。

＝昭和57年度
国民健康保険特別会計予算，総額2億4千4百万円＝

本年度の国民健康保険特別会計予算総額は、二億四千三百七十一万八千円で前年対比百三十二、九％の約三割三分の増額です。

国保会計は被保険者がお医者さんにかかる医療費を推定計算し、予算を立てるもので、前年度医療費が激増し高額医療費が約二倍の支払いでした。入院費が約五〇％増で、近年にない医療費の増嵩でした。

本年度は前年度の医療費実績を見きわめ、推計額二億二千二百二十八万三千円で前年年度当初予算の約三四・三％の増です。皆さん方から納めて頂く保険税は九千二十四万八千円で前年対比三二・五％の増となります。

重病にならないうちに体のぐあいが悪い時は早めにお医者さんから見てもらい、医師の指示に従い医療費の節減に協力下さい。保険税の軽減につながるとともに健康で長生きできる基本ではないでしょうか。

主な予算内容